



2月の園だより

社会福祉法人のぞみの会
大塚保育園
大塚子どもふれあい館
園長 石坂 芳
令和4年2月1日発行 No.469

早いものでもう2月になりました。

新型コロナウイルスの感染により、全国各地の保育園で休園の報道が報じられています。大塚保育園は幸いにも現在園児・職員の感染はありませんが、いつ感染者が出てもおかしくない情勢であります。今まで通り感染対策を十分とりますが、もし感染者が出た場合は保育幼稚園課と協議し対策を講じ、保護者の皆様に連絡するようにいたします。

さて、現在本園では「園庭芝生化」の工事中です。ご不便をおかけしますが、卒園式ごろには青々とした園庭が完成すると思いますので楽しみにしてください。

この2月は一年の中で一番寒い時期です。睡眠や食事等は十分に取って体調に気を付けて日々をお送り下さい。
園長

行事予定

- 2日(水) 体操のじかん〔そら〕
- 3日(木) 節分(行事予定の変更です)
- 4日(金) 観劇会〔幼児のみ〕
- 8日(火) 歌のじかん
- 9日(水) 体操のじかん〔にじ〕
乳児健診
- 10日(木) リトミック〔ひかり/にじ〕
- 15日(火) 歌のじかん
- 16日(水) 体操のじかん〔ひかり〕
- 17日(木) リトミック〔にじ/そら〕
- 18日(金) 誕生会
- 19日(土) 入園説明会

年間行事予定では〔節分豆まき〕でしたが、下記の注意喚起を受けて豆まきは行わず入口に厄除けの飾りを吊るします。

《消費者庁より注意喚起(抜粋)より》

“もうすぐ節分。硬い豆やナッツ類は
5歳以下の子どもには食べさせないで!!”

豆が気管や気管支の中で水分を吸って膨らみ、窒息を引き起こす場合もあります。大変危険なので、**ご家庭でも5歳以下の子どもには食べさせないでください。**

大人に近い咀嚼(そしゃく)(食べ物を歯でかみ砕くこと)ができるようになり、飲み込んだり吐き出したりする力が十分に発達するのはそれぞれ3歳頃ですが、その2つを協調させることができるようになるのは6歳頃と言われています。硬い豆やナッツ類は、5歳以下の子どもには食べさせないでください。特に、兄弟がいる家庭では、兄弟が豆やナッツ類を食べていて欲しがっても、食べさせないようにしましょう。

そして、物を口に入れたままで、走ったり、笑ったり、泣いたり、声を出したりすると、誤って吸引し、窒息・誤嚥するリスクがあります。泣いている時に食べ物をあげるのもやめましょう。



～クラス懇談会について～

新型コロナウイルス感染症の流行により2月・3月に予定しておりましたクラス懇談会は中止とさせていただきます。ただし、つき・うさぎ組については4月から幼児クラスに上がるという、生活が変化する学年なので、時間をわけて、予定されている**3月2日(水)**に行いたいと思います。つき・うさぎ組の保護者の皆様には、後日別紙にてお知らせ致します。

新年度について不安なことや、ご質問、お子さんの様子で気になることなどありましたらお声掛け下さい。よろしくお願い致します。

新年度の4月に行われる懇談会は、以下のように予定しております。4月からの新クラスの予定をご覧ください。

- ★ ゆめ・ひよこ組・・・4/5 (火) 入園式後
- ★ ほし・りす組・・・4/5 (火)
- ★ つき・うさぎ組・・・4/7 (木)
- ★ そら組・・・4/6 (水)
- ★ にじ組・・・4/8 (金)
- ★ ひかり組・・・4/11 (月)

《実習生を受け入れてます》

2名(1/31～2/14まで)
よろしくお願い致します。

《お子さん達が外遊びをすることで得られる6つの効果とは?》

…という記事がありましたので様々なメリットを紹介させていただきます!

お子さんが怪我をしないように家で遊ばせたい、などと思う方もいると思いますが、お子さんにとって外遊びはとても重要です。

1. 基礎体力が養われる

外遊びをすることで、お子さんの基礎体力や運動能力の向上が期待できます。外で遊ぶと、走る、しゃがむ、跳び跳ねるなど、さまざまな動作が求められるため、自然と体力がついたり、体の動かし方がうまくなったりするでしょう。室内での遊びとは異なり、体の複数の部分を連携させて動かす場面も多いため、脳の発達にもつながります。

2. 積極性が育つ

外遊びをすることは、お子さんの積極性を育てるためにも効果的です。家での遊びと比較すると、外遊びは自由度が高いため、お子さん自身が積極的に考えて動かなければならない場面も多くあります。お子さんは、自然の中でどう遊ぼうか、遊具を使ってどう遊ぼうかなどと考えて自分で動き出すため、積極性が高まるのです。友達の様子を見て刺激を受けたり、遊具を見て自然と遊びたくなったりもするでしょう。友達のお真似をしたり、一緒に遊んだりするケースもあり、たくさんの刺激を受けて、自分で積極的に考えて動く力が伸びていくでしょう。

3. コミュニケーション能力が発達する

コミュニケーション能力が発達することも、外遊びのメリットのひとつです。お子さんは、さまざまな人と接したり、一緒に遊んだりすることで、みんなで遊ぶ楽しさや協調性の大切さを学んでいきます。また、外遊びをする場合は、一定のルールに従ったり、会話をしたりしなければなりません。遊具を譲りあうことや、自分の考えを主張することも求められます。多くの人との触れ合いの中で、自然とコミュニケーション能力が発達していくでしょう。

4. 健康維持に役立つ

外で体を動かすことで心肺機能が鍛えられたり、太陽の光を浴びることで代謝がよくなったり、ストレス発散や睡眠の質の向上も期待できます。身体だけでなく心の健康維持にもつながるため、適度に外で遊ぶことが大切です。

5. 失敗経験から学びを得られる

外で遊んでいると、さまざまな失敗をするでしょう。転んだり、何かにぶつかったりして、怪我をする場合もあります。スポーツが上手く出来ない、友達と喧嘩をしてしまう、といったケースもあるでしょう。お子さんは、様々な失敗経験から多くのことを学んでいきます。危険を避けるためにはどうすればよいか、スポーツが上手くなるためにはどう体を動かせばよいか、友達と仲良くするためにはどう接すればよいかなど、失敗を糧にして色々な事を考え、成長していきます。外遊びは、生きる術を学ぶ方法といえるでしょう。

6. 能力が向上する可能性もある

外遊びをすることで、能力が向上する可能性もあります。家の外に出ると普段とは違う景色を見たり、違う音を聞いたりするため、多くの神経が刺激を受けます。脳も刺激を受けるため、集中力がアップして、効率が上がることも期待できるのです。芝生工事が始まり、園庭が使えないので、幼児クラスは毎日近くの公園へ行っています。大人が危ないからと過保護になり、先回りしすぎてしまうとお子さんの育つ力が育ちません。大きな怪我にならないためには、小さい怪我の積み重ねの中で身体のバランスや思考を育てる事が大切です。見守る事も大人の役割の一つです。



個別活動のようす (幼児クラス)



～～みんなで餅つき体験もしました!～～

